

平成 29 年度 保護林制度改正に伴う保護林区分の移行（案）について

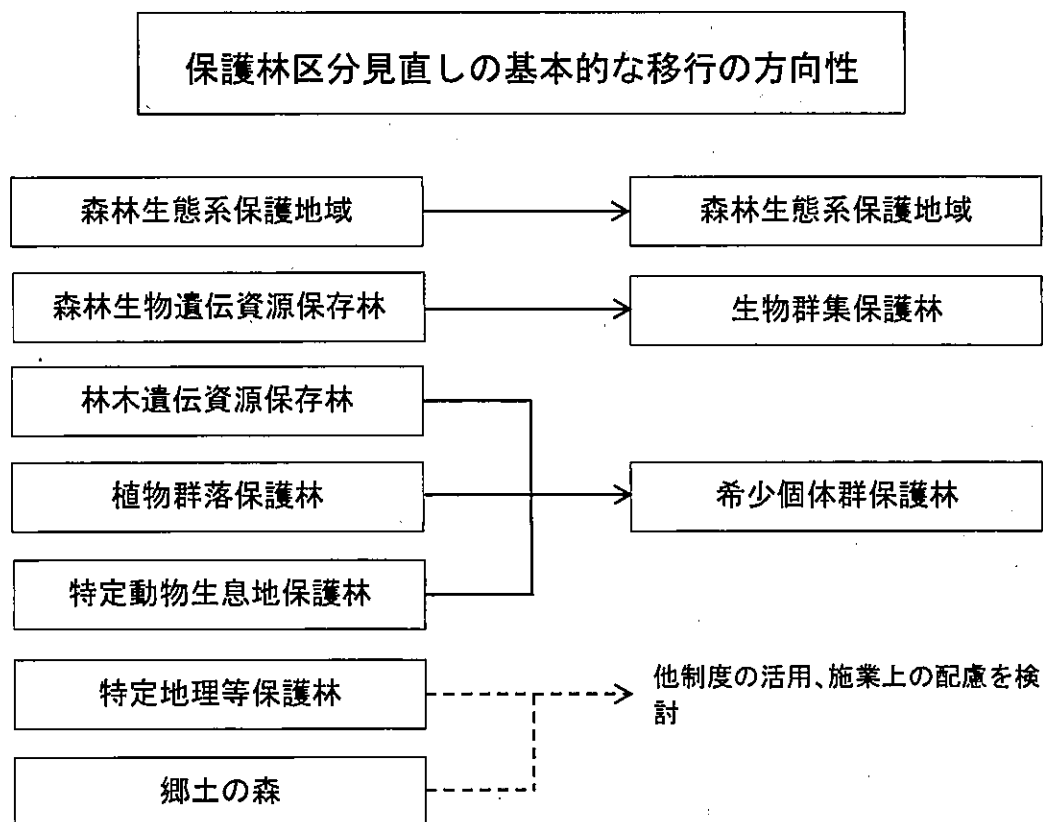
平成 27 年 9 月の保護林制度の改正により、保護林が 7 区分から 3 区分に再編されたことに伴い、近畿中国森林管理局管内の 81 箇所の保護林のうち、平成 27 年度に新たな区分で新設された 3 箇所を除く 78 箇所の保護林を新たな保護林区分に移行。

新区分への移行は、下図の基本的な方向性に基づき実施。平成 27 年度は 10 箇所、平成 28 年度は 14 箇所の保護林を新区分に移行。本年度は残る 54 箇所の保護林について移行を行う。区分見直しに当たり検討を要した 13 箇所の保護林について、区分見直しのための調査を行った。その結果、資料 2-1 による移行を計画。

なお、他制度の活用等により基本的に廃止とされている岩見山特定地理等保護林については、資料 2-2 のとおり、現地調査の結果、新たな 3 区分のいずれの要件にも当てはまらないため廃止を計画（自然維持タイプの森林として引き続き現状を維持）。

また、資料 2-3 のとおり、「榎平山暖帯落葉樹林植物群落保護林」及び「川平山暖帯落葉樹林植物群落保護林」は、隣接して所在し、保護対象種（ミズナラ及びコナラ）、林分構造及び構成樹種が概ね同じであるため、統合。「榎平山ミズナラ・コナラ希少個体群保護林」とする計画。

これらの結果を資料 2-4 に取りまとめた。



※近畿中国森林管理局に「郷土の森」は設定されていない。

平成 28 年度保護林区分の見直し (案)

- 1 植物群落保護林又は特定動物生息地保護林から生物群集保護林への移行を検討するため調査
⇒調査のポイント：生物群集の存在の確認（生物群集保護林の面積要件：原則 300ha 以上）

	保護林名	面積	調査結果の概要	見直し (案)
1	千丈平ブナ 植物群落保護林	856.88ha	○ブナを優占種として、ナナカマド、ハウチワカエデ、コミネカエデ、イタヤメイゲツ（コハウチワカエデ）、オオカメノキなど暖帯上部～温帯に生育する樹種が混交する植物群集の形成を広範囲で確認。 ○ツキノワグマ、アオゲラ、クマタカ等の森林に生育する動物や亜高山帯以上に生息するオコジヨを確認。 ○ブナ帯に生息するトウカイコリクワガタの生息を確認。	生物群集保護林へ移行
2	上谷山ブナ・ミズナラ 植物群落保護林	573.74ha	○ブナ及びミズナラが広範囲に良好に生育。 ○ツキノワグマ、アオゲラ、クマタカ等の森林に生育する動物を確認。 ○ブナ帯に生息するトウカイコリクワガタの生息を確認。	生物群集保護林へ移行
3	氷ノ山・三の丸ブナ 植物群落保護林	384.75ha	○ブナ及びミズナラが優占種として良好に生育。 ○ニホンリス、アオゲラ、ミソサザイ等の森林に生息する動物やキセキレイ、カワガラス等の溪流に生息する種も確認。多様な動物相を形成。	生物群集保護林へ移行
4	三国山ブナ 植物群落保護林	319.03ha	○スギ、ブナ、トチノキが主要構成種となり良好に生育。下層植生としても生育を確認。 ○ツキノワグマ、アオゲラ、ミソサザイ等の森林に生息する動物やリクワガタ等のブナ帯に生息する種も確認。	生物群集保護林へ移行
5	宮島 特定動物生息地保護林	1,065.93ha	○保護林内に生育している樹種や植生、動物種に地域固有と言えるものが確認できず。 ○シカ食害による下層植生の衰退に伴い、表土の流出が発生し、保護の対象のミヤマジマシボの生息する湿地環境に影響を及ぼす可能性がある。	生物群集保護林の面積要件を満たしているが、保護すべき生物群集は存在しない。希少個体群保護林に移行。

2 廃止が基本とされている特定地理等保護林の希少個体群保護林への移行を検討するための調査

⇒調査のポイント：保護に値する希少個体群の存在の確認（希少個体群保護林の面積要件：原則 5ha 以上）

保護林名	面積	調査結果の概要	見直し(案)
6 岩見山 特定地理等保護林	29.64ha	○木本類・草本類ともに周辺地域で一般的に見られる種しか確認できなかつた。	(継続調査の実施結果で判断)

3 保護林区域の拡大を検討するための調査(拡大により希少個体群保護林又は生物群集保護林の面積要件に達することが可能か否かの調査)

⇒調査のポイント：保護林に隣接する林分への拡大の可能性の有無（希少個体群保護林の面積要件：原則 5ha 以上、生物群集保護林の面積要件：原則 300ha 以上）

保護林名	面積	調査結果の概要	見直し(案)
7 野鹿谷シヤクナゲ 植物群落保護林	4.00ha	○周辺の林分でのシヤクナゲの生育状況を確認したところ、シヤクナゲは点在している状況で、群生は確認できず。	現在の区域で希少個体群保護林に移行
8 鷹ノ巣山ブナ 植物群落保護林	4.04ha	○隣接する広葉樹林は登山者が多く訪れる鷹ノ巣山の山頂付近で、眺望確保のため繰り返し伐採が行われた結果、保護林とは異なる林相であった。	現在の区域で希少個体群保護林に移行
9 鳴川山ウラジロモミ・ コメツガ 植物群落保護林	249.58ha	○隣接する天然林は、既存の天然林と同様の林相を呈し、尾根部はウラジロモミと天然ヒノキを、谷部はブナ、ミズナラ、トチノキ等を林冠構成種とする林相であった。	隣接する天然林を保護林に編入したうえで生物群集保護林へ移行

4 面積要件を満たさない希少個体群保護林の隣接保護林への統合の可能性を検討するための調査

⇒調査のポイント：隣接林分との林分内容の類似性

保護林名	面積	調査結果の概要	見直し(案)
10 四ヶノ仙奥山高地湿原 等植物群落保護林	4.41ha	○当該保護林はヤチスゲ、オオミズゴケ等が生育する湿原と天然スギで構成されており、隣接するブナやミズナラを主体とする水ノ山・三ノ丸ブナ植物群落保護林とは林相が全く異なる。	現在の区域で希少個体群保護林に移行

5 人工林を保護林としている箇所の現況確認調査
 ⇒調査のポイント：面積要件を満たさない現行面積での希少個体群保護林への移行の可能性

	保護林名	面積	調査結果の概要	見直し(案)
11	大又文政スギ 植物群落保護林	1.50ha	○江戸時代植栽されたスギが保護林区域内全域で順調に生育。	現在の区域で希少個体群 保護林に移行
12	恵下谷山コウヤマキ 植物群落保護林	1.49ha	○江戸時代植栽されたコウヤマキがスギやヒノキの大径木とともに保護林区域内全域で順調に生育。	現在の区域で希少個体群 保護林に移行
13	滑山モミ 植物群落保護林	3.47ha	○江戸時代植栽されたモミが保護林区域内全域で順調に生育。	現在の区域で希少個体群 保護林に移行

岩見山特定地理等保護林における保護林区分の見直し現地調査報告

1 調査の目的

平成 28 年度に保護林区分の見直しのための調査を行い、平成 29 年 2 月 8 日開催の保護林モニタリング調査評価等部会において保護に値する個体群や希少な個体は見つからなかった旨の調査報告を行った。

同部会において、調査地が保護林の^{みち}縁の人工林近くで行われており、調査地として不適切であること、また、丹念に調査すれば石灰岩特有の植物が生育している可能性があるとの指摘から、再度職員により生育している植物種の調査を行った。

2 調査年月日

調査年月日：平成 29 年 6 月 29 日～平成 29 年 6 月 30 日

3 調査箇所

別添位置図のとおり。

標高は、①：430～480m、②：380～430m、③：460～520m。

4 調査結果

確認種は 72 種。うち針葉樹はアカマツ、イヌガヤ、カヤなど 5 種、広葉樹はアオダモ、アオハダ、アカメガシワなど 49 種（うち蔓類 3 種）、草本 16 種（うちラン 2 種、蔓類 1 種）、シダ類 2 種（詳細は、別紙「岩見山特定地理等保護林で観察された植生」参照）。

石灰岩特有の植物としてイブキシモツケ、イワシデを確認したが、群落として生育しておらず点在していた。

5 今後の取扱い

新たな 3 区分の保護林のいずれの要件にも当てはまらないため廃止とするが、森林の機能類型は引き続き「自然維持タイプ」として維持管理することとする。

岩見山特定地理等保護林で観察された植物

調査年月日：平成29年6月29日～30日

石灰岩質土壌で良く観察される植物

	植物(等)名	ルート①	ルート②	ルート③	備考
		東斜面	谷中	西斜面	
針葉樹	アカマツ	○			
	イヌガヤ		○		
	カヤ		○		
	ネズミサシ	○		○	
	ヒノキ			○	
	5種				
広葉樹等	アオダモ	○	○		
	アオハダ		○		
	アカメガシワ	○	○		
	アセビ	○		○	
	アベマキ	○		○	
	アラカシ	○		○	
	イヌガヤ		○		
	イヌビワ		○		
	イブキシモツケ	○		○	
	イロハモミジ	○		○	
	イワシデ(コシデ)	○		○	
	ウツギ			○	
	ウラジログシ	○			
	ウラジロノキ	○		○	
	ウリノキ		○		
	ウリカエデ	○			
	オオバアサガラ		○		
	オオモミジ		○		
	カシワ	○			
	カスミザクラ			○	
	カツラ		○		
	ガマズミ	○		○	
	カマツカ	○			
	キハギ				
	コナラ	○	○	○	
	コバノガマズミ	○			
	サイゴクミツバツツジ	○		○	
	サワグルミ		○		
	サンショウ		○	○	
	シロダモ		○		
	シナノキ		○		
	シラカシ	○			
	シラキ		○		
	ソヨゴ	○		○	
	ダンコウバイ	○			
	ナガバモミジバイチゴ	○			
	ナツハゼ	○		○	
	ナルコユリ			○	
	ネジキ	○		○	
	マユミ	○			
	ヤブニッケイ		○		
	ヤマウルシ	○		○	
	ヤマハゼ	○			
	ヤマビワ		○		
	ヤマツツジ	○			
	リョウブ	○	○	○	
	46種				

	植物(等)名	ルート①	ルート②	ルート③	備考
		東斜面	谷中	西斜面	
草本	イタドリ	○	○		
	イワタバコ		○		
	ウワバミソウ		○		
	エンレイソウ属の一種		○		葉により確認
	ダイコンソウ		○		
	トチバニンジン		○		
	ヒオウギ			○	
	ホウチャクソウ		○		
	マツカゼソウ		○		
	マムシグサ		○		
	ミズヒキ		○		
	マルバマンネングサ			○	
	ヤブレガサ		○		
	ジガバチソウ	○		○	
	シュンラン	○			
	15種				
蔓類	アケビ(木本類)		○		
	クロタキカズラ(木本類)		○		
	サルトリイバラ(木本類)	○			
	トコロ(草本類)	○			
	4種				
シダ類	イワヒバ			○	
	ノキシノブ	○		○	
	2種				
	全72種				

石灰岩質土壌で良く観察される植物

イブキシモツケ



イワシデ



その他の植物

ウラジロガシ



アラカシ



ガマズミ



アベマキ



コナラ



アセビ



ソヨゴ



ウラジロノキ



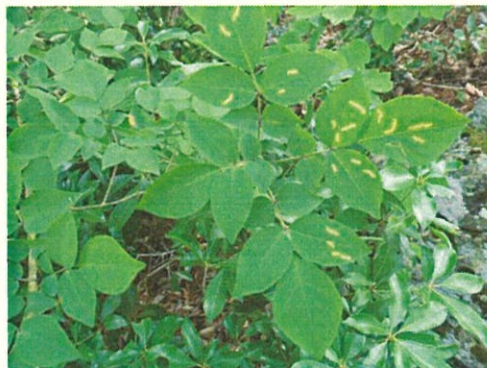
ヤマウルシ



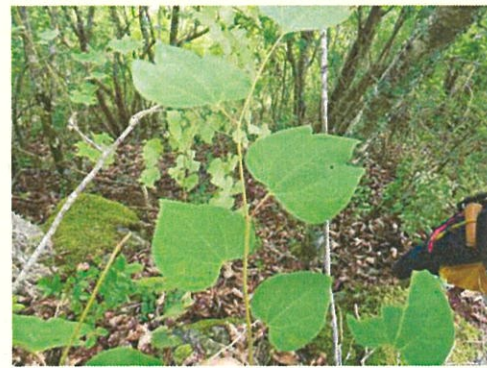
コバノガマズミ



コバノトネリコ



ダンコウバイ



アセビ



リョウブ



アカメガシワ



ネズミサシ

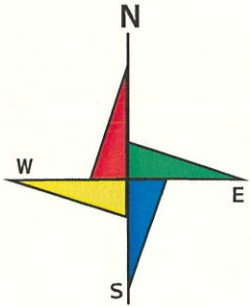


ジガバチソウ

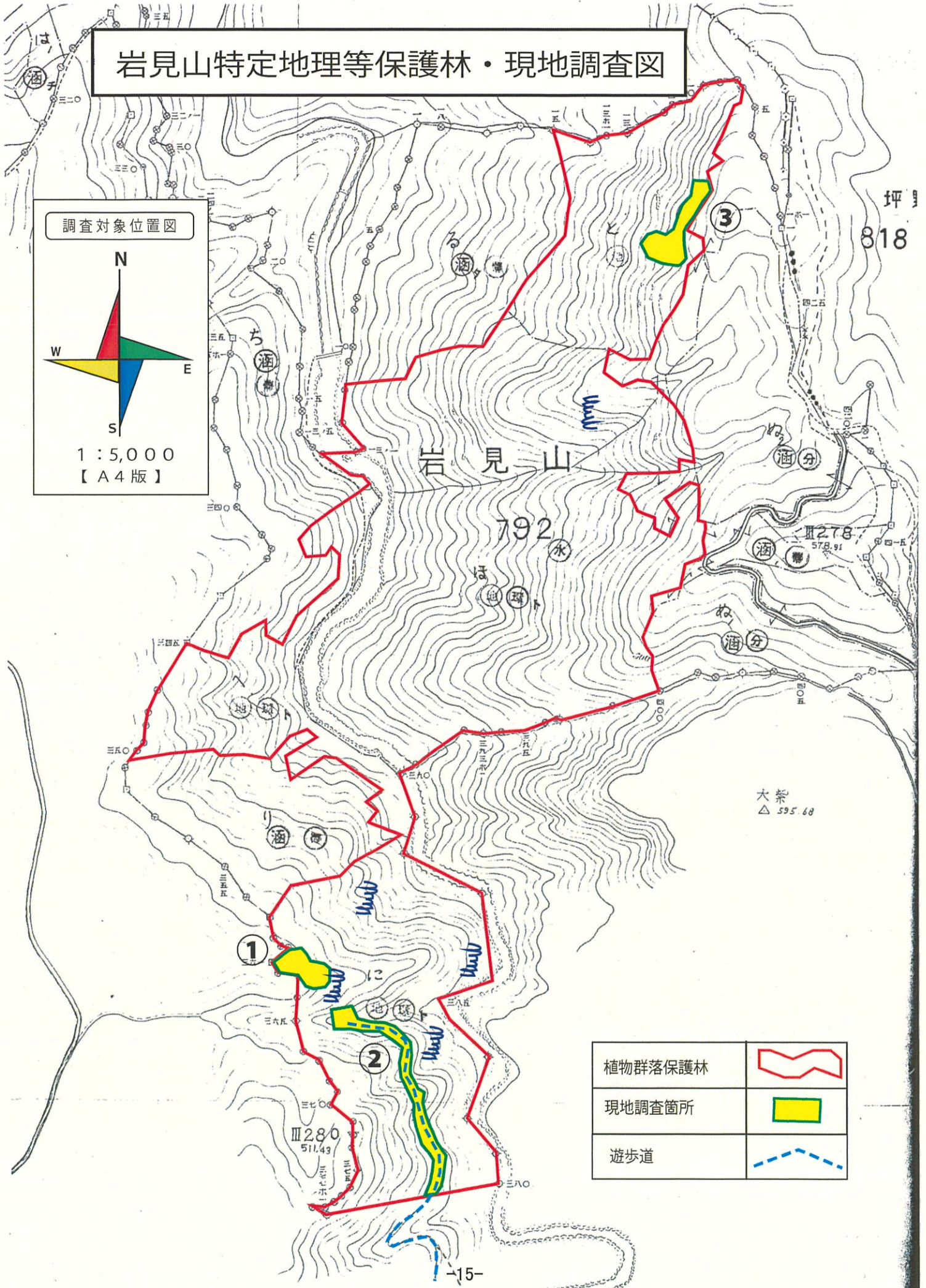


岩見山特定地理等保護林・現地調査図

調査対象位置図



1 : 5,000
【A4版】



植物群落保護林	
現地調査箇所	
遊歩道	

隣接する保護林の統合


榎平山暖帯落葉樹林植物群落保護林

川平山暖帯落葉樹林植物群落保護林

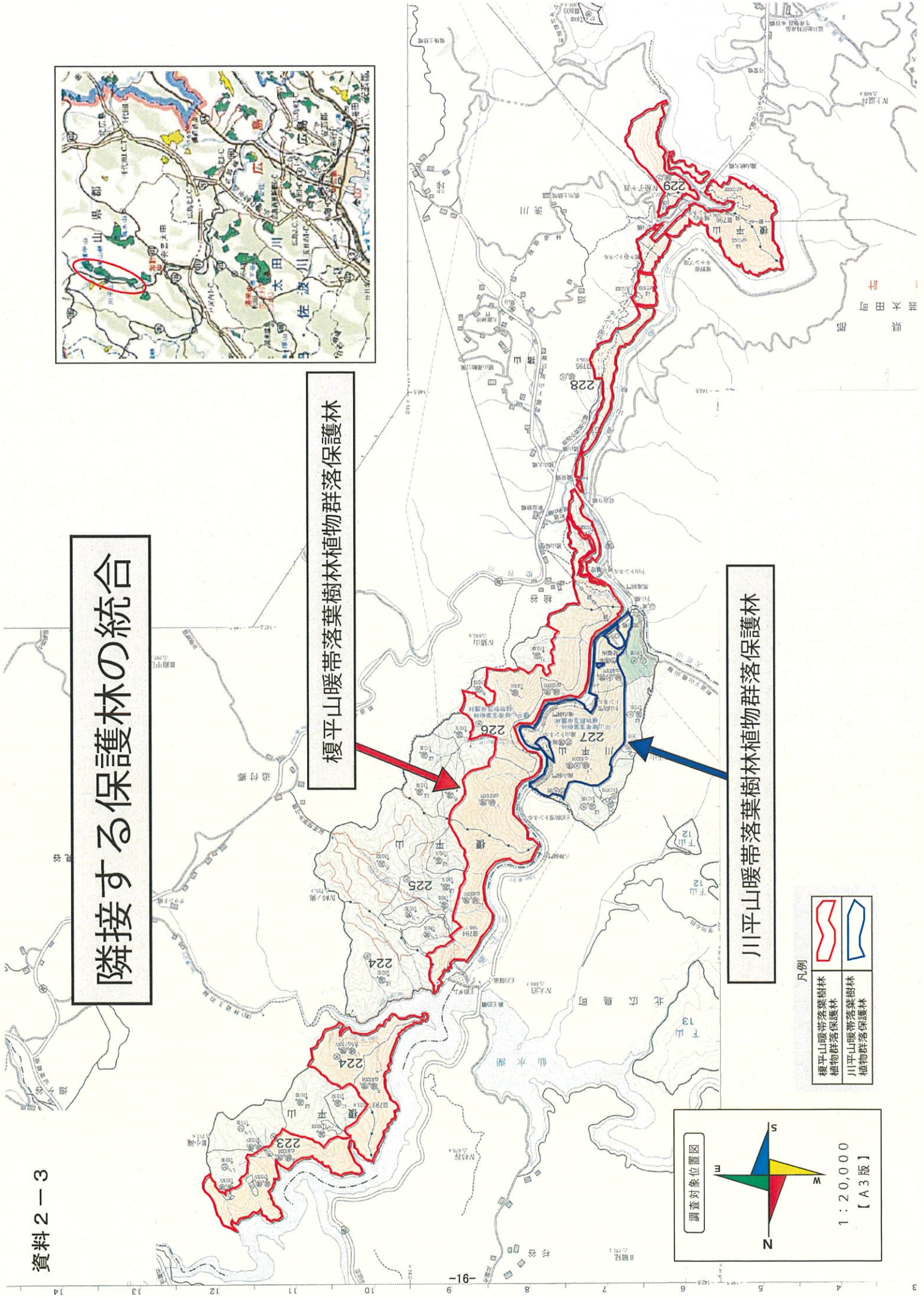
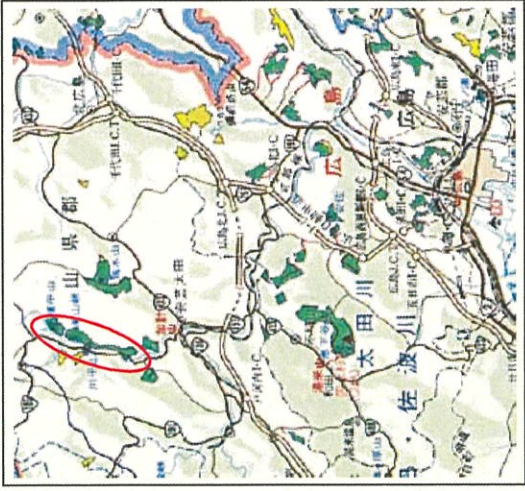
凡例

	榎平山暖帯落葉樹林植物群落保護林
	川平山暖帯落葉樹林植物群落保護林

調査対象位置図



1 : 20,000
【 A 3 版 】



資料2-4

平成29年度 保護林制度の改正に伴う保護林区分の移行 (案)

・ 新たな区分に移行させる保護林名は、その保護の対象がわかりやすいものとし、原則として、
 ① 森林生態系保護地域及び生物群集保護林に関しては地域、山地、河川名等を付した名称。(例：〇〇山周羽森林生態系保護地域、〇〇川生物群集保護林)
 ② 希少個体群保護林に関しては地域及び保護対象野生生物名若しくは保護対象野生生物名のみを付した名称とする。(例：〇〇(地域名)△△(野生生物名)希少個体群保護林。旧林木遺伝資源保存林は、名称中に「遺伝資源」を付する(例：□□(樹種名)遺伝資源 希少個体群保護林)
 とした。
 平成28年度保護林区分の見直し調査の箇所は黄色で表示した。

旧保護林区分	旧保護林名	計画区	面積 (ha)	新保護林区分	保護林名 (案)	保護対象樹種等	
森林生態系保護地域	大杉谷森林生態系保護地域	南伊勢	1,390.75	森林生態系保護地域	大杉谷森林生態系保護地域	優占種による植生帯 暖温帯樹林～高山帯	
	大山森林生態系保護地域	日野川・天神川	3,190.42		大山森林生態系保護地域	優占種による植生帯 ブナ帯から高山～亜寒帯	
	森林生物遺伝資源保存林	黒蔵谷森林生物遺伝資源保存林	紀南	515.87	生物群集保護林	黒蔵谷生物群集保護林	優占種による植生帯 暖温帯照葉樹林域～冷温帯落葉樹林
		千丈平ブナ植物群落保護林	加賀	856.88		千丈平生物群集保護林	優占種による植生帯 ブナクラスの自然植生～亜高山帯(ミドリユキササ-ダケカンバ群落)
		上谷山ブナ・ミズナラ植物群落保護林	湖北	573.74		上谷山生物群集保護林	優占種による植生帯 冷温帯林
		水ノ山・三の丸ブナ植物群落保護林	揖保川・円山川	384.75		水ノ山・三の丸生物群集保護林	優占種による植生帯 冷温帯林
		三国山ブナ植物群落保護林	千代川・天神川	319.03		三国山生物群集保護林	優占種による植生帯 冷温帯林
		鳴川山ウラジロモミ・コメツガ植物群落保護林	北山十津川	249.58		鳴川山生物群集保護林	優占種による植生帯 冷温帯林～亜高山帯 (孤完により面積は345.87ha)
林木遺伝資源保存林	黒河山林木遺伝資源保存林	若狭	93.05	希少個体群保護林	黒河山スギ・ブナ・ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林	スギ・ブナ・ミズナラ・イヌシデ	
	音水林木遺伝資源保存林 (105林班)	揖保川	48.48		音水スギ・ヒノキ・トチノキ遺伝資源希少個体群保護林	スギ・ヒノキ・トチノキ	
	音水林木遺伝資源保存林 (103林班)	揖保川	9.70		音水モミ・ブナ・ミズナラ等遺伝資源希少個体群保護林	モミ・ブナ・ミズナラ・トチノキ・クリ	
	大越林木遺伝資源保存林	紀南	193.03		大越モミ・ツガ・アラカシ等遺伝資源希少個体群保護林	モミ・ツガ・アラカシ・アカシデ・アカガシ	
	西鴨林木遺伝資源保存林	天神川	9.19		西鴨ブナ・ハハウチワカエデ遺伝資源希少個体群保護林	ブナ・ハハウチワカエデ	
	高嶺芦谷林木遺伝資源保存林	高津川	6.69		高嶺芦谷スギ・ヒノキ・モミ等遺伝資源希少個体群保護林	スギ・ヒノキ・モミ・ブナ・クリ	
	十文字山林木遺伝資源保存林	江の川下流	44.85		十文字山スギ・イヌブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	スギ・イヌブナ・ミズナラ	
	船通山林木遺伝資源保存林	斐伊川	34.17		船通山ブナ・ミズナラ・ホオノキ等遺伝資源希少個体群保護林	ブナ・ミズナラ・ホオノキ・サワグルミ・ミズキ	
	本山林木遺伝資源保存林	吉井川	9.72		本山モミ・ツガ・クリ等遺伝資源希少個体群保護林	モミ・ツガ・クリ・アカガシ・ミズメ	
	釜ヶ峰林木遺伝資源保存林	江の川上流	5.41		釜ヶ峰アベマキ・アカマツ遺伝資源希少個体群保護林	アベマキ・アカマツ	

	旧保護林区分	旧保護林名	計画区	面積 (ha)	新保護林区分	保護林名(案)	保護対象樹種等
19	林木遺伝資源 保存林	恵下谷山林木遺伝資源保存林	太田川	14.32	希少個体群保護林	恵下谷山スギ・モミ・ツガ遺伝資源希少個体群保護林	スギ・モミ・ツガ
20		黒打山林木遺伝資源保存林	太田川	16.73		黒打山スギ・ヒノキ・モミ等遺伝資源希少個体群保護林	スギ・ヒノキ・モミ・ツガ・コウヤマキ
21		滑山林木遺伝資源保存林(15林班)	山口	51.19		滑山アカマツ・ブナ・コナラ等遺伝資源希少個体群保護林	アカマツ・ブナ・コナラ・アカシデ・ミズナラ
22		滑山林木遺伝資源保存林(29林班)	山口	12.93		滑山アカマツ・モミ・ツガ等遺伝資源希少個体群保護林	アカマツ・モミ・ツガ・ウラジロガシ
23	植物群落保護林	野鹿谷シャクナゲ植物群落保護林	若狭	4.00	野鹿谷シャクナゲ希少個体群保護林	シャクナゲ	
24		二ノ俣ツガ植物群落保護林	尾鷲熊野	12.55	二ノ俣ツガ・スギ希少個体群保護林	スギ・ツガ	
25		大杉谷ツガ・常緑広葉樹植物群落保護林	南伊勢	7.10	大杉谷ツガ・モミ・トガサワラ等希少個体群保護林	ツガ・モミ・トガサワラ・アカガシ	
26		大又モミ・ツガ植物群落保護林	尾鷲熊野	9.67	大又モミ・ツガ希少個体群保護林	モミ・ツガ	
27		大又トガサワラ植物群落保護林	尾鷲熊野	7.10	大又トガサワラ希少個体群保護林	トガサワラ	
28		大又文政スギ植物群落保護林	尾鷲熊野	1.50	大又文政スギ希少個体群保護林	文政スギ	
29		三国山湿原植物群落保護林	湖北	30.86	三国山湿原植物希少個体群保護林	キンコウカほか湿原植物	
30		逢坂山照葉樹植物群落保護林	湖南	29.93	逢坂山照葉樹希少個体群保護林	シイ・カン等	
31		大悲山モミ植物群落保護林	淀川上流	10.24	大悲山モミ希少個体群保護林	モミ	
32		音水溪谷イヌブナ植物群落保護林	揖保川	209.35	音水溪谷イヌブナ・ミズナラ希少個体群保護林	イヌブナ・ミズナラ	
33	四ヶノ仙奥山高地湿原等植物群落保護林	円山川	4.41	四ヶノ仙奥山高地湿原植物等希少個体群保護林	ヤチスゲ・アイソウ・オオミズゴケ・ハイ ケイソウ・ヒメミズゴケ・コイヌハナヒゲ・ ツマトリソウ・トキシソウ・モウセンゴケ・ス ギ・ブナ		
34	木地屋敷ブナ植物群落保護林	円山川	23.67	木地屋敷ブナ希少個体群保護林	ブナ		
35	金剛山ブナ植物群落保護林	大和木津川	16.21	金剛山ブナ希少個体群保護林	ブナ		
36	大塔山照葉樹林植物群落保護林	紀南	56.76	大塔山照葉樹林希少個体群保護林	アカガシ・シラカン・シイ等の照葉樹林		
37	大塔山モミ・ツガ・ブナ植物群落保護林	紀南	29.57	大塔山モミ・ツガ・ブナ希少個体群保護林	モミ・ツガ・ブナ		
38	亀谷ツガ・ブナ植物群落保護林	紀南	215.81	亀谷ツガ・ブナ希少個体群保護林	ツガ・ブナ		
39	高嶺芦谷ブナ植物群落保護林	高津川	32.16	高嶺芦谷スギ・ブナ・ミズナラ希少個体群保護林	天然スギ・ブナ・ミズナラ		
40	花の谷シャクナゲ植物群落保護林	江の川下流	14.00	花の谷シャクナゲ希少個体群保護林	シャクナゲ群落		

	旧保護林区分	旧保護林名	計画区	面積 (ha)	新保護林区分	保護林名(案)	保護対象樹種等
41	植物群落保護林	十文字山ブナ植物群落保護林	江の川下流	42.44	希少植物群落保護林	十文字山ブナ・ミズナラ希少植物群落保護林	ブナ・ミズナラ
42		三瓶山自然林植物群落保護林	江の川下流	121.43		三瓶山ブナ・ミズナラ希少植物群落保護林	ブナ・ミズナラ
43		加茂山モミ・ツガ植物群落保護林	旭川	17.63		加茂山モミ・ツガ・トチノキ希少植物群落保護林	モミ・ツガ・トチノキ
44		竜ノ口山アラカン植物群落保護林	旭川	16.47		竜ノ口山アラカン希少植物群落保護林	アラカン
45		指谷山ブナ植物群落保護林	江の川上流	75.17		指谷山ブナ・コナラ希少植物群落保護林	ブナ・コナラ
46		恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林	太田川	1.49		恵下谷山コウヤマキ希少植物群落保護林	コウヤマキ
47		榎平山暖帯落葉樹林植物群落保護林	太田川	187.86		榎平山ミズナラ・コナラ希少植物群落保護林	ミズナラ・コナラ
48		川平山暖帯落葉樹林植物群落保護林	太田川	36.25		(榎平山ミズナラ・コナラ希少植物群落保護林に統合)	ミズナラ・コナラ
49		鷹ノ巣山ブナ植物群落保護林	瀬戸内	4.04		鷹ノ巣山ブナ・モミ希少植物群落保護林	ブナ・モミ
50		滑山モミ植物群落保護林	山口	3.47		滑山モミ希少植物群落保護林	モミ
51		水山ブナ・ナツツバキ植物群落保護林	円山川	5.04		水山ブナ・ナツツバキ希少植物群落保護林	ブナ・ナツツバキ
52	特定動物生息地保護林	北股暖地性昆虫生息地保護林	吉野	122.59		北股暖地性昆虫生息地希少植物群落保護林	ゴイシツバメシジミ
53		宮島特定動物生息地保護林	太田川	1,065.93		ミヤジマトンボ希少植物群落保護林	ミヤジマトンボ
54	特定地理等保護林	岩見山特定地理等保護林	高梁川上流	29.04		廃止一自然維持タイプ	
合計(54箇所)							

